

新潟米 マンスリーレポート

(令和5年2月号)

《今月の特集》

令和5年度の産地交付金（県枠）の支援内容を決定しました

2月10日に開催された新潟県農業再生協議会での検討結果を踏まえ、令和5年度の産地交付金（県枠）の支援内容を決定しました。

これらの支援策を積極的に活用し、引き続き非主食用米等の維持・拡大に取り組みましょう。

【令和5年度の県枠支援内容】

		支援内容	支援概要	支援単価（上限）
1	継続	加工用米・新市場開拓用米 複数年契約支援	R3年産から継続している契約について、5年産も引き続き支援	12,000円/10a
2	継続	加工用米安定生産支援	安定生産につながるよう、3年以上の複数年契約や低コスト生産の取組等に支援	6,000円/10a
3	新規	WCS用稲・飼料作物 生産性向上支援	十分な収量確保につながるよう、生産性の向上に資する取組等に支援	3,000円/10a
4	継続	高収益作物拡大支援	園芸品目を推進する観点から、前年度からの拡大面積に対し支援	25,000円/10a (前年度からの拡大面積のみ)

※ 1と2の重複助成はできません。

【県枠の取扱留意点】

(1) 加工用米安定生産支援

令和4年からの3年間または令和5年からの3年間を含む3年以上の複数年契約を締結するか、低コスト生産につながる技術等に取り組む必要があります。

低コスト生産につながる具体的な技術等の内容については、次ページをご覧ください。

(2) WCS用稲・飼料作物生産性向上支援

生産性の向上に資する取組等の内容については、3ページをご覧ください。

(3) 高収益作物拡大支援

下記に示す高収益作物*について、前年度からの拡大面積を支援します。

※ 高収益作物：地域農業再生協議会が令和5年度の産地交付金で支援する野菜、花き・花木、果樹、

その他地域農業再生協議会が水田収益力強化ビジョンで承認を受けた高収益作物

＜加工用米の安定生産支援のうち低コスト生産につながる技術等について＞

○ 要件：以下のメニューのうち、**2つ以上の取組を行った場合**支援します。

取組メニュー	取組内容
直播栽培	湛水直播栽培や乾田直播栽培
疎植栽培	地域の慣行栽培における移植密度に比べ密度を低くし、移植に要する苗箱数を減らす取組
高密度播種育苗栽培	地域の慣行栽培における育苗密度に比べ密度を高くし、移植に要する苗箱数を減らす取組
プール育苗	プールを設置し、プール内に苗箱を置き湛水状態で行う育苗
温湯種子消毒	農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸漬し、種子消毒を行う取組
効率的な移植栽培	無代かき移植栽培、乳苗移植栽培
作期分散	作期の異なる複数品種を作付けし、作期を分散する取組 (経営体の水稻生産全体の中での作期分散であり、加工用米だけで複数品種を作付けし作期分散する必要はない)
土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり	土壌診断等に基づく施肥、有機質資材(堆肥を含む)や土壌改良資材(ケイ酸等)の施用
効率的な施肥	流し込み施肥、育苗箱全量施肥、側条施肥、全量基肥施肥
効率的な農薬処理	播種時同時処理、田植え同時処理
多収性品種の導入	多収性品種の作付け(国指定品種、県特認品種及び県指定品種)
農業機械の共同利用	地域における農業機械の共同利用やシェアリングサービスの活用 (CE等施設の利用は含まない)
コスト低減につながるスマート農業機器の活用	コスト低減につながるスマート農業機器の活用
取組拡大	前年産から取組面積を拡大

<WCS用稲の生産性向上支援の取組について>

- 要件：以下のメニューのうち、**2つ以上の取組を行った場合**支援します。

取組メニュー	取組内容
直播栽培	湛水直播栽培や乾田直播栽培
疎植栽培	地域の慣行栽培における移植密度に比べ密度を低くし、移植に要する苗箱数を減らす取組
高密度播種育苗栽培	地域の慣行栽培における育苗密度に比べ密度を高くし、移植に要する苗箱数を減らす取組
プール育苗	プールを設置し、プール内に苗箱を置き湛水状態で行う育苗
温湯種子消毒	農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸漬し、種子消毒を行う取組
効率的な移植栽培	無代かき移植栽培、乳苗移植栽培
土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり	土壌診断等に基づく施肥、有機質資材（堆肥を含む）や土壌改良資材（ケイ酸等）の施用
効率的な施肥	流し込み施肥、育苗箱全量施肥、側条施肥、全量基肥施肥
効率的な農薬処理	播種時同時処理、田植え同時処理
農業機械の共同利用	地域における農業機械の共同利用やシェアリングサービスの活用
コスト低減につながるスマート農業機器の活用	コスト低減につながるスマート農業機器の活用
取組拡大	前年産から取組面積を拡大
耕畜連携（資源循環）	水田で生産されたWCS用稲の供給を受けた家畜の排泄物から生産された堆肥を施用（当該年度における堆肥の散布）
コントラクターへの作業委託	コントラクターへの作業委託
集積・団地化	WCS用稲を5ha以上集積
担い手が行う取組	農地中間管理機構の借受者、認定農業者、認定新規就農者、集落営農、人・農地プランに位置付けられた地域の中心となる経営体による作付け
飼料成分情報の提供	飼料分析の実施及び畜産農家への情報提供
WCS用稲専用機の活用	WCS用稲専用収穫機の活用

＜飼料作物の生産性向上支援の取組について＞

- 要件：以下のメニューのうち、**2つ以上の取組を行った場合**支援します。

取組メニュー	取組内容
土壌診断等を踏まえた施肥・土づくり	土壌診断等に基づく施肥、有機質資材（堆肥を含む）や土壌改良資材（ケイ酸等）の施用
農業機械の共同利用	地域における農業機械の共同利用やシェアリングサービスの活用
コスト低減につながるスマート農業機器の活用	コスト低減につながるスマート農業機器の活用
取組拡大	前年産から取組面積を拡大
排水対策	周囲明渠の設置、暗渠・補助暗渠の設置、耕うん同時畝立て播種
中耕	中耕の実施
耕畜連携（資源循環）	水田で生産された飼料作物の供給を受けた家畜の排泄物から生産された堆肥を施用（当該年度における堆肥の散布）
コントラクターへの作業委託	コントラクターへの作業委託
集積・団地化	WCS用稲を5ha以上集積
担い手が行う取組	農地中間管理機構の借受者、認定農業者、認定新規就農者、集落営農、人・農地プランに位置付けられた地域の中心となる経営体による作付け
飼料成分情報の提供	飼料分析の実施及び畜産農家への情報提供
不耕起播種	不耕起播種機の活用（飼料用とうもろこしに限る）

※ 取組メニューは、国との協議の結果等により、今後変更される可能性があります

※ 不明な点がございましたら、お近くの地域振興局にお問い合わせください

- ✓ 価格・在庫状況等については、国から公表され次第、3月号に掲載します。
- ✓ 編集後記もお休みします。
- ✓ 3月号は、3月上旬に発行する予定です。

発行元：新潟県農林水産部農産園芸課
 TEL：025-280-5295
 URL：<https://www.niigatamai.info>